

2022年度 事業報告

2022年4月1日～2023年3月31日

<Vision>

「広告業界の未来のために、JAAAは広告の価値と魅力を創造し向上させるエンジンとなる」

2年を超えるコロナ禍、様々な制約の中で人々の生活・意識は大きく変化し、広告業界も厳しい環境下、リモートワークなど働き方の改革を進める一方で、広告の多様な価値と魅力の創造・向上に取り組んでいる。JAAAは昨年新たに掲げたビジョン・アクションプランをほぼ踏襲し、コロナとの共存の中での社会経済活動の回復と、グローバル化の中で発生している地政学的な影響への対応を加えこの2022年度の基本方針とする。

<Action Plan>

1. 業界協働スキームによる共通課題の解決

広告が広告主の事業課題に応えることにとどまらず、社会の課題に向き合い解決の方向を示すことが求められ始めている。JAAAは広告関連28団体・全国22の地域広告業協会等を始め多岐にわたるネットワークを活用し、広告業界の未来のためのビジネステーマ・SDGsなどの社会テーマにも積極的に取り組んでいく。

また、4つの統括委員会や委員長会議などを活用し、協会内横断での議論・意見交換を深化させていく。

2. 若手人材の育成、業界の人材確保

広告業界が未来に向けて発展し続けるためには、多様な人材を確保し活躍してもらうこと、そして定着してもらうことは最大のテーマである。その中でも若手人材を確保し成長機会を提供することを継続して行ってきたJAAAとしては、委員会連携でのセミナーの実施や若手人材の交流の場づくり、広告関連団体との連携プロジェクトをさらに充実させるとともに、広告会社で働くことの魅力・期待感の向上につながるアプローチにチャレンジしていく。

3. 「メディア×デジタル、クリエイティブ×デジタル」への対応強化

DXはメディアビジネス、クリエイティブのもはや前提条件でもあり、デジタル基盤をベースに広告は統合的に機能していく。多様化・複合化する広告会社の取り組みをJAAA内委員会横断の議論や広告関連団体との連携・協働スキームなどでサポートする。

既に稼働しているいくつかのプロジェクトをより深耕させ、広告プロセスの効率化を進めるとともに、新しい広告の価値を提示していく。

4. 会員社とのコミュニケーション強化と対外発信の活性化

JAAAが会員社の理解と協力を得て「広告の価値と魅力を創造し向上させる」活動を行っていくためには、よりいっそう会員社とのコミュニケーションを深めていく必要がある。昨年より始めたオンラインによる会員社への訪問を継続し、協会からの情報発信をより活用してもらえよう内容・タイミング等精査を行うとともに、JAAA主催の各賞の発信の場をより工夫していく。

<2022年度 事業報告>
(2022年4月1日～2023年3月31日)

1. 2022年度を振り返って

長引くコロナ禍に加え、エネルギー・原材料の高騰、不安定な国際金融情勢、インフレ懸念、終息の見えにくいウクライナ-ロシア間の紛争はじめ多発する地政学的な国際緊張は、私たち生活者にとっても企業活動にとっても大変大きな影響をもたらしました。

一方で、FIFAワールドカップサッカーカタール大会での日本代表の活躍や、ワールドベースボールクラシックでの侍ジャパンの優勝など、国際スポーツでの日本代表の活躍は、イベント等への規制の緩和もあって、熱狂的な盛り上がりを見せ、非常に大きな経済波及効果をもたらしたことは、広告業界にとっても明るいニュースとなりました。

2022年の日本の総広告費は、過去最高の7兆1,021億円となり前年比104.4%の伸びとなりましたが、好調のインターネット広告費以外の、マス4媒体・プロモーションメディアなどは依然として、苦戦と明暗が分かれています。また、昨今の広告業界への逆風・広告への不信感の増大は極めて遺憾であり、あらためて会員社はじめ広告業界へのコンプライアンスの周知・徹底を図るとともに、広告・広告業界の価値と魅力を社会全体に発信し、信頼の回復に努めていきたいと考えています。

2. 業務執行報告

(1) 2022年度定時総会

新型コロナウイルス感染症防止のため、出席を会員代表者と統括委員会及び事業委員会の委員長、副委員長に限定し、議決権のある会員代表者から委任状提出を求める開催とした。会員代表者の出席者46名、委任状の提出が75名、合計121名で、会員総数152社の過半数を超え、定款第17条及び第18条により本総会は有効に成立した。

定款により五十嵐理事長を議長に選任し、議事録署名人としてI&S BBDOの永井祥裕理事、読売広告社の藤沼大輔理事を選任した。

1) 日 時 2022年5月31日(火) 13時30分～14時

2) 会 場 東京會館・3階ローズルーム

3) 議 事

[報告事項]

1. 2021年度事業報告の件

2. 2022年度事業計画並びに収支予算報告の件

[決議事項]

第1号議案 2021年度決算報告承認の件

第2号議案 2022年度役員選任の件

第3号議案 「定款」一部改定承認の件

* 定時総会については会員社にオンライン配信を行い、贈賞・表彰式については会員社及び広告主、媒体社など招待者にもオンライン配信を行った。

(2) 理事会

業務執行理事である理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の職務執行状況は以下の通り。

(理事長：五十嵐 博)

＜2022年4月1日～2023年3月31日＞

■五十嵐理事長、植野副理事長*、戸田副理事長、落合副理事長、橋爪専務理事、池田常務理事

4月22日 第328回理事会の開催

1. 2021年度事業報告・決算報告承認の件
2. 2022年度定時総会招集通知案承認の件
3. 2022年度役員候補者承認の件
4. 委員会改編承認の件
5. 利益相反取引報告承認の件

8月5日 第329回理事会の書面決議

1. 利益相反取引報告承認の件

10月28日 第330回理事会の開催

1. 入会申請に関する件
2. 2022年度上期収支決算報告承認の件
3. 利益相反取引報告承認の件

1月27日 第331回理事会の開催

1. 役員選挙管理規定改定案承認の件
2. 利益相反取引報告承認の件

3月24日 第332回理事会の開催

1. 2023年度事業計画案・収支予算案承認の件
2. 第58回吉田秀雄記念賞受賞者承認の件
3. 第52回懸賞論文入賞・入選者承認の件
4. 2022年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者承認の件
5. 第10回広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞承認の件
6. 入会申請承認の件
7. 2023年度定時総会開催承認の件
8. 利益相反取引報告承認の件

* 植野副理事長は、2022年10月19日付辞任

■橋爪専務理事、池田常務理事

- ・協会運営等を推進

・正副理事長会議

3月24日 業務執行体制等について

・運営委員会（委員長：植野伸一*/戸田裕一）

4月15日 第328回の提出議案について検討、理事会への上程を承認した。

7月15日 第329回の提出議案について検討、理事会への上程を承認した。

「運営委員会」運営基準に基づき役員選挙管理委員会の委員の推薦を行った。

福地 献一理事（朝日広告社）

内藤 好之理事（内藤一水社）

10月21日 第330回の提出議案について検討、理事会への上程を承認した。

橋爪専務理事より植野運営委員長が理事を辞任したため、運営委員長に戸田副理事長を推薦し、五十嵐理事長から委嘱を受けたことを報告した。

1月20日 第331回の提出議案について検討、理事会への上程を承認した。

3月17日 第332回の提出議案について検討、理事会への上程を承認した。

* 植野副理事長は、2022年10月19日付辞任

・財務委員会（委員長：曾我有信）

4月13日 2021年度決算報告について書面決議を行った。

3月10日 2023年度収支予算案について書面決議を行った。

・入会資格審査委員会（委員長：大塚尚司）

10月17日 株式会社博報堂テクノロジーズ、アクセンチュア株式会社、株式会社AViCの入会申請について書面決議を行った。

3月 8日 株式会社日経エージェンシーの入会申請について書面決議を行った。

・吉田秀雄記念賞選考委員会（委員長：桑原常泰）

2月 8日 第58回吉田秀雄記念賞の候補者について検討を行った。

3月 7日 第58回吉田秀雄記念賞の選考を書面にて行った。

・役員選挙管理委員会（委員長：丹羽信一）

3月20日 2023・2024年度役員選挙の推薦数、選挙方法（電子投票）およびスケジュールについて検討した。

（3）監査・検査

4月13日 会計検査 2021年度決算に関して監事会社の経理担当者による会計検査を書面で行った。

4月13日 監査 2021年度決算並びに業務の執行状況について、監事による監査を書面で行った。

10月20日 会計検査 2022年度上期決算に関して監事会社の経理担当者による会計検査を書面で行った。

10月20日 監査 2022年度上期決算並びに業務の執行状況について、監事による監査を書面で行った。

◆理事・監事の辞任

◇理事

2022年10月19日付

植野 伸一 株式会社 ADKホールディングス

2022年12月31日付

川上 宗一 株式会社 電通デジタル

◇監事

2022年9月30日付

湯澤 齊 廣告社株式会社

3. 各委員会報告

◆ビジネス統括委員会（担当理事：神田橋 治 委員長：佐野 傑）

10月12日、2月28日

1. 委員の交替

前田 真一（電通）⇒ 佐野 傑（同社）

菊地 英之（博報堂）⇒ 望月 圭介（同社）

金子 慶一（マッキンゼーエリクソン）⇒ 福田 篤史（同社）

2. 委員長の互選

委員長 佐野 傑（電通）

3. 2022年度各委員会報告

経理委員会、情報システム委員会、法務委員会、制作取引委員会、営業委員会、著作権委員会、広告の機能と役割研究委員会、CSR委員会、広告問題研究委員会より上半期の活動報告を10月12日に、下半期（年度）の活動報告を2月28日に受けた。

・経理委員会（委員長：三宅 大）

6月6日、8月25日（リアル）、1月19日、3月27日

1. 委員の交替

飯田 祐司（大広）⇒ 森 健（同社）

三宅 大（電通コーポレートワン）⇒ 長森 秀樹（同社）

生田 京子（博報堂DYホールディングス）⇒ 佐治木のぞみ（同社）

金丸 紀之（博報堂/博報堂DYメディアパートナーズ）⇒ 松本 宜孝（博報堂DYホールディングス）

2. 委員長・副委員長の互選

委員長 長森 秀樹（電通コーポレートワン）

副委員長 鹿野 和夫（I&S BBDO）

3. 下請法ガイドブック一部追記等対応

2022年6月に協会が行った「パートナーシップ構築宣言」および2023年3月に中小企業庁のウェブサイトに掲載された「取引適正化に向けた自主行動計画」の中で「手形の支払サイトを60日以内とするよう努める」と記載していることに伴い、手形期間短縮の周知に取り組むこととした。

具体的には、2016年に発行した『広告会社のための下請法ガイドブック』内の手形期間に関する記述について、「120日以内（繊維業は90日以内）」としていた部分を、各省庁の通達で公表

されている内容と合わせ、「2024年を目途として60日を超える手形を違反とする見直しが検討されている」旨該当箇所に追記し、冊子活用の際に読み替えてもらうよう資料を作成。10月よりウェブサイト等で公開した。

【各省庁通達等】

- ・中小企業庁/公正取引委員会「下請代金の支払い手段について」（令和3年3月）
- ・中小企業庁/公正取引委員会「手形等のサイトの短縮について」（令和4年2月）
- ・広告業界における下請適正取引等の推進のためのガイドライン（平成31年3月改訂）

4. 経理業務に関する情報交換

下記について各社の対応状況の情報交換を行った。

- ・新収益認識基準
- ・電子帳簿保存法
- ・インボイス制度 他

5. 官公庁からのアンケート等への協力

下記2件のアンケート等について、会員社への周知協力依頼を行った。

- ・財務省「消費税のインボイス制度の準備状況に関するアンケート」回答社数…34社
- ・経済産業省『『パートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化施策パッケージ』の実施に向けた法遵守状況の自主点検」回答社数…108社

6. インボイス制度・改正電子帳簿保存法説明会の実施

経済産業省からの要請を受け、以下説明会をオンラインで実施した。

実務者のための「インボイス制度・改正電子帳簿保存法」説明会

日 時 2023年2月24日（金） 14:00～15:30 Zoom ウェビナー

講 師 財務省主税局担当官

モデレーター 三宅 大（委員長/電通コーポレートワン）

参加費 無料＊会員社対象

参加者 227名

・情報システム委員会（委員長：奥村卓也）

5月10日、8月1日、11月18日、11月25日、12月5日

1. 委員の交替

西井雄一郎（I&S BBDO）⇒ 高橋あづさ（同社）

緒方 新（ADKホールディングス）⇒ 上原 達也（同社）

黒木 昭一（ジェイアール東日本企画）⇒ 向山 真人（同社）

岡崎 清範（東急エージェンシー）⇒ 葉山 晃司（同社）

川上 勲（博報堂D Yホールディングス）⇒ 小沼 武（博報堂テクノロジーズ）

2. 委員長・副委員長の互選

委員長 奥村 卓也（電通コーポレートワン）

副委員長 小沼 武（博報堂テクノロジーズ）

3. 委員各社の情報交換

①「情報システムアンケート」の検討

定点観測として実施している「情報システムアンケート」について、2022年度の項目の検討を行い、アンケート項目を決定した。今年度は通常の定点観測として実施している項目、また昨年より追加したウィズコロナ・アフターコロナ施策の項目に加え、IT部門のDX推進・取組みに関する項目を追加した。アンケート結果報告をJAAAレポート2月号に掲示し共有した。

②情報システム委員会をオンラインにて開催し、各社のヒアリングと意見交換を行った。

- ・11月18日 I&S BBDO、朝日広告社、オリコム
- ・11月25日 ジェイアール東日本企画、電通グループ、マッキャンエリクソン
- ・12月 5日 日本経済社、博報堂DYホールディングス、東急エージェンシー、ADKホールディングス

・法務委員会（委員長：長谷川雅典）

5月12日

1. 委員の交替

真栄田祐子（I&S BBDO）⇒ 衣川 佳江（同社）
池田 正明（朝日広告社）⇒ 加藤 博文（同社）
北川 幸夫（東急エージェンシー）⇒ 石黒 博達（同社）
富永 正久（読売広告社）⇒ 金子 達哉（同社）

2. JARO広告法務セミナー オンラインの実施協力

主 催 日本広告審査機構、日本アドバイザーズ協会、日本アド・コンテンツ制作協会、
日本広告制作協会、日本インタラクティブ広告協会、日本広告業協会他

【1回目】広告法務セミナー「2021年度JAROの広告審査と事例」

日 時 2022年7月14日（木）15:00～16:30 Zoomウェビナー
講 師 吉田 巖（JARO審査部課長）
参加者 1,125名
参加費 無料

【2回目】広告法務セミナー「景品表示法の運用状況と違反事例」

日 時 2022年8月26日（金）15:00～17:00 Zoomウェビナー
講 師 南 雅晴（消費者庁 表示対策課課長）
参加者 414名
参加費 3,000円

3. JAA－JAAA 広告取引基本契約モデル案改訂について

2009年12月に策定した広告取引基本契約モデル案について、日本アドバイザーズ協会とJAAA法務委員会・営業委員会・著作権委員会間で内容の改訂、アップデート作業を開始した。

・制作取引委員会（委員長：沼澤 忍）

1. 委員の交替・補充

<交替>

大塚 靖（クオラス）⇒ 徳島 淳（同社）

<補充>

岡野 敏之（電通）

2. 字幕付きCM普及推進協議会への協力

8月30日の「字幕付きCM普及推進説明会」に委員会として参加、周知を行った。

3. テレビCM不要原版廃棄問題について

標記問題について、JAAA著作権委員会および日本アド・コンテンツ制作協会と意見交換を行った。

4. その他

他団体との連携 I.C.E. (Interactive Communication Experts)

・営業委員会（委員長：降旗 淳）

4月18日

1. 委員の交替

柴野 成明（東急エージェンシー）⇒ 河本 賢一（同社）

高田 周平（読売広告社）⇒ 天羽 太郎（同社）

2. 字幕付きCM普及推進協議会への協力

8月30日の「字幕付きCM普及推進説明会」に委員会として参加、周知を行った。

3. JAA-JAAA 広告取引基本契約モデル案改訂について

2009年12月に策定した広告取引基本契約モデル案について、日本アドバタイザーズ協会とJAAA法務委員会・営業委員会・著作権委員会間で内容の改訂、アップデート作業を開始した。

・著作権委員会（委員長：渡部秀人）

7月12日

1. 委員の交替

中島 正人（東急エージェンシー）⇒ 石黒 博達（同社）

内藤 圭二（読売広告社）⇒ 齋藤 征洋（同社）

2. 日本アドバタイザーズ協会「一度は学ぼう。広告制作に関する法規制セミナー」講師派遣

参加人数（合計）：656名

第1回（9月15日）著作権

講 師 渡部 秀人（委員長/電通）

第2回（9月28日）表示

講 師 星 知矩（電通）

第3回（10月14日）プライバシー権・パブリシティ権

講 師 寺林 憲宏（委員/大広）

第4回（10月28日）商標

講 師 森村 芳永（委員/博報堂）

桐山 大（弁理士/野本・桐山国際特許事務所所長）

第5回（11月10日）広告主が気を付けたい広告手法、そのポイント

講 師 山本 京輔（委員/博報堂）

第6回（追加実施・11月18日）

質疑応答、意見交換会

3. テレビCM不要原版廃棄問題について

標記問題について、JAAA制作取引委員会および日本アド・コンテンツ制作協会と意見交換を行った。

4. JAA-JAAA 広告取引基本契約モデル案改訂について

2009年12月に策定した広告取引基本契約モデル案について、日本アドバイザーズ協会とJAAA法務委員会・営業委員会・著作権委員会間で内容の改訂、アップデート作業を開始した。

・広告の機能と役割研究委員会（委員長：柳瀬健司）

6月22日

1. 委員長の交替

松本 順（マッキンゼーエリクソン）⇒ 柳瀬 健司（モメンタム ジャパン）

2. JAAA史上初、広告会社横断型アンケート「あなたのホンネがミライをつくる。広告業界ミライ調査」

2022年度はコロナによる影響が刻々と変化する中、「広告や広告会社の抱える課題や今後の可能性」について同業界で働く仲間がどのように考えているのかアンケートの調査を行った。アンケート結果は広告業界で働いている同志に希望を与えるべく、会報5月号特集として掲載し、合わせてウェブサイト等にて会員社に向けてナレッジ発信を行った。

【アンケート概要】

調査目的 同じ業界で働く仲間たちが、広告や広告会社の現状をどう捉え、どのように今後の可能性について考えているのかを把握し、今後の広告業界が進むべき道を見出すきっかけとする。

調査対象者 JAAA会員社に勤務する広告業界関係者

調査方法 インターネット調査

調査時期 2022年11月22日～12月9日

・CSR 委員会（委員長：宮坂隆行）

6月14日、8月26日、12月21日

1. 委員の交替・退任

＜交替＞

中村由美子（ADKマーケティング・ソリューションズ）⇒ 有泉 昌（同社）

木下 浩二（電通）⇒ 庄司 猛（電通コーポレートワン）

＜退任＞

水谷 泰之（広告社）

2. 委員長・副委員長の互選

委員長 宮坂 隆行（博報堂DYホールディングス）

副委員長 池田真理子（ジェイアール東日本企画）

3. SDGsポスター募集事業について

SDGsをテーマとしたポスター募集を、下記のとおり実施した。

目 的 応募をきっかけにCSRテーマについて考えてもらう

募集期間 2022年10月1日（土）～ 11月30日（水）
テーマ SDGs「大きな変化の時代に、未来志向の視点で社会課題の解決に何が求められるか？」「これからの社会のために、広告人だからこそできることとは？」
応募総数 11社35名28点（昨年実績：10社54名51点）
最優秀賞 いちばんの課題は、ワクワクしないことでした。
丸原 孝紀、高津 颯真、森澤 敦史（東急エージェンシー）
優秀賞 わたしたちの手でつながっている目標を表現し明るい未来をつくろう
田中 三恵（スコープ）
優秀賞 育てよう、SDGs
丸原 孝紀、扇 玲香、古林 萌実（東急エージェンシー）
優秀賞 変えたくない日常のために、変えたい意識がある。
荒木 竜郎、佐藤 寛子、表 千歩（日本経済広告社）

4. セミナー企画について

SDGsのなかでも広告会社社員にとって関心が高い「SDGsウォッシュ」をテーマとしたセミナーを実施した。

タイトル 「SDGsウォッシュを生まないために～サステナビリティ・コミュニケーションに必要な視点～」

日 時 2023年2月20日（月） 14:00～15:10 Zoom ウェビナー

パネリスト 木下 浩二（グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン（GCNJ）事務局員）
長島 美紀（Malaria No More Japan理事、SDGs市民社会ネットワーク理事）

モデレーター 宮坂 隆行（CSR委員会委員長／博報堂DYホールディングス）

構成 パネルディスカッション方式（70分）

対 象 JAAA会員社

申 込 約200名

・ 広告問題研究委員会（委員長：北原利行）

5月26日、9月28日、11月21日

1. 委員の交替

山本 博子（マッキンゼーエリクソン）⇒ 宮原 芳史（同社）⇒ 天明 渉（同社）

2. 『2021年 日本の広告費』からみる現状とこれから』セミナーの実施

日 時 2022年4月21日（木） 14:00～15:00 Zoom ウェビナー

講 師 北原 利行（広告問題研究委員会委員長/電通）

対 象 JAAA会員社、広告関係団体（参加費無料）

参加者 567名

3. 業界情報の共有

国や業界の動向、JAAAの関連活動について委員会で随時共有を行っている。共有を行った主な内容は下記の通り。

- ・ 官公庁からの各種情報について。また、あわせてJAAAウェブサイトにも8月より開始の「官公庁からのお知らせ一覧」ページについて。https://www.jaaa.ne.jp/govt_info/

- ・パートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化会議およびJAAAパートナーシップ構築宣言について
 - ・JAAA「広告会社におけるサプライチェーン全体での取引適正化に向けた自主行動計画」について
4. 「広告会社におけるサプライチェーン全体での取引適正化に向けた自主行動計画」策定
- 経済産業省・中小企業庁は業界団体に対して、サプライチェーン全体での「取引適正化」と「付加価値向上」に向けた自主行動計画の策定と着実な実行を要請しており、JAAAはパートナーシップ構築宣言と並行して、自主行動計画策定の要請を受けた。要請を受け、関連する委員会委員長（経理、法務、制作取引、著作権委員会）と意見交換を行った。当委員会にて策定文書の全体監修を担い、理事会にて承認を得て、3月1日に中小企業庁ウェブサイトに掲載。あわせてJAAAウェブサイトにも掲載し、会員社に周知を行った。
5. 委員会活動テーマ
- ー昨年来継続している「これからの広告業界をどう捉えていくのか」を大きなテーマとして、広告会社や業界関係者に発信していきたいトピックスについて、委員へのアンケートおよび意見交換を行った。現在広告会社・広告業界が直面している課題として下記が上位に挙がった。発信方法などについて、引き続き検討を行う。
- ・これからの社会情勢と広告会社への影響
 - ・これからの広告会社の役割
 - ・人材に関する諸対応（確保、育成、キャリアマップ等）
 - ・DX対応
 - ・働き方の見直し

◆メディア委員会（担当理事：矢嶋弘毅 委員長：永井聖士）

10月14日、2月9日

1. 委員の交替

廣嶋 正之（朝日広告社）⇒ 前田 一郎（同社）⇒ 田中 智顕（同社）
大西 繁（博報堂）⇒ 磯村 美樹（同社）

2. 日本民間放送連盟「2022年日本民間放送連盟賞グランプリ審査員」推薦

日本民間放送連盟よりグランプリ審査員の推薦依頼を受け、メディア委員会委員から2名を推薦した。

テレビ審査委員 山田 覚（博報堂DYメディアパートナーズ）
ラジオ審査委員 齋藤 幸蔵（マッキンゼーエリクソン）

3. 2022年度各委員会報告

テレビ委員会、ラジオ委員会、新聞委員会、雑誌委員会、交通広告委員会、インターネット広告委員会、メディア調査研究委員会、メディア業務改善委員会、CM素材オンライン運用推進プロジェクト、OOH新共通指標策定プロジェクトより、上期活動報告を10月14日に、下期（年度）の活動報告を2月9日に受けた。

・テレビ委員会（委員長：相坂勇人）

4月22日、5月25日、7月12日、9月6日、10月25日、12月13日、1月24日、2月21日、3月15日

1. 委員の交替

前田 一郎（朝日広告社）⇒ 永井 彰（同社）

小倉 莊司（電通）⇒ 川原崎祐司（同社）

佐々木秀徳（日本経済広告社）⇒ 都築 良治（同社）

磯村 美樹（博報堂）⇒ 相坂 勇人（博報堂DYメディアパートナーズ）

田近 伸幸（博報堂DYメディアパートナーズ）⇒ 川上 純平（同社）

2. 委員長・副委員長の互選

委員長 相坂 勇人（博報堂DYメディアパートナーズ）

副委員長 川原崎祐司（電通）

副委員長 川上 純平（博報堂DYメディアパートナーズ）

3. ビデオリサーチ「タイムシフト視聴率データ異常値」について

JAAA会員社に向けて状況を発信し、随時日本アドバイザーズ協会に報告と相談を行った。

第一報（4月25日）2021年8月からのTS異常値発生、4月時点での把握状況を報告。

第二報（5月25日）タイムシフト視聴計測スタート時（2016年10月）からのタイムシフト視聴された時点を把握し異常時点を報告。

第三報（7月22日）タイムシフト視聴率データ異常時点について修正値（正誤表）の報告
＜異常時点の修正値（正誤表、データ再納品スケジュール（契約各社-VR間の個別対応）、再発防止策＞

＜原因と対応＞

リモコンの一時停止ボタンを押すことによる音声波形でタイムシフト視聴率データの異常値が発生したと推測され、タイムシフトデータ計測スタートの過去にさかのぼりすべての異常行動時点をビデオリサーチが抽出報告し、該当の広告会社から個別に広告主の対応が行われた。

●ビデオリサーチ社「タイムシフトデータ異常値の件」の通知（8月25日）

タイムシフトデータ異常値「ターゲット別視聴率正誤表（エクセルデータ）」を会員社あてに通知した。

4. テレビCM素材オンライン運用について

①CM運行ワーキンググループの活動

(1)民業CM運行合同WG開催

日 時 2022年6月29日（水）13:30～15:30

議 事 テレビCM素材搬入基準の改訂

民業WGで改訂を合意した搬入基準を7月12日テレビ委員会で承認。（民放連も同日改訂を承認。）

●テレビCM素材搬入基準【2022年7月改訂版】改訂ポイント

- ・HDCAM（記載）廃止。運用終了。
- ・民放連番組交換基準が改定され、オンライン送稿ファイルの技術引用文言の明確化、および表記の統一が実施された。
- ・字幕付きCMは2022年10月スポット枠受入れ解禁。暫定を外し基準の恒久化。

(2)民業CM運行合同WG開催

日 時 2022年12月5日（月）16:00～17:30

議 事 (1) 字幕付きCMについて

- ・テレビ広告EDIへの字幕付きCM情報付与
- ・字幕付きCM「事前チェック」業務フロー共同検討

(2)CM素材オンライン運用推進プロジェクト報告

(3)CM進行表電子化の件

字幕付きCM「事前チェック」業務フローについては、業務効率化の為、「字幕付きCM素材搬入基準」の改訂を行うべく検討を行った。

(3)民業CM運行合同WG開催

日 時 2023年2月14日（水）13:30～14:30

議 事 字幕付きCM素材搬入基準の改訂(民業WGで承認)

- ・字幕付きCM素材搬入基準の改訂を実施。

字幕付きCM素材の搬入が2022年10月以降増加していることから、事前確認のための資料提出を撤廃する代わりに、「1. 字幕付きCM」にて、同素材の制作に関する留意事項を定め、放送前にCM素材内容を確認することでその適正さを担保することとした。

●改訂ポイント

- ・事前確認のための資料提出を撤廃し効率化を進める。
- ・字幕付きCM素材の制作に関する留意事項を明示し、正しい字幕付与について周知する（必要事項表記についてのかぶり等について注意喚起）。
- ・放送局側は放送前にCM素材内容（適正な字幕付与）を確認する。

(4)テレビCM素材搬入基準【2023年2月改訂版】承認について

字幕付きCM素材搬入基準の改訂を行ったため2団体上部委員会にて改訂を承認した。

民放連・営業委員会（2023年2月27日）承認

JAAAテレビ委員会（2023年2月21日）承認

②CM素材オンライン運用推進プロジェクトへの協力

* CM素材オンライン運用推進プロジェクト参照

5. 字幕付きCM普及推進協議会について

①第8期（2022年1月～12月）活動概要

(1)「字幕付きCMに対する評価、効果等に関する調査」

- ・5月10日 アンケート調査結果報告書完成
- ・5月19日 字幕CM協議会にて運営委員に調査結果報告

(2)第2回運営委員会開催 2022年7月26日（火）14:00～15:00

- ・調査2022報告書・普及促進チラシ（PPT/PDF）作成
- ・字幕付きCM PORTAL WEB SITE開設
- ・字幕付きCMロードマップ「ステップ4」移行を承認

2022年10月＝ステップ4（最終ステップ）に到達。字幕付きCMの放送局の受け入れは番組・スポット枠に拡大した。

(3)第3回運営委員会開催 2023年1月30日（月）16:30～17:30

- ・日本ポストプロダクション協会の協力団体としての加盟
- ・字幕付きCMのデータについて
- ・第8期活動報告（案）および会計報告

同日 第9期（2023年1月～12月）・第1回運営委員会が開催された。

第9期は、主幹事務局 日本アドバイザーズ協会。

②普及推進の取り組み（説明会など）

(1)字幕付きCM普及推進説明会の開催（広告会社・ポストプロダクション対象）

字幕付きCM素材を全放送枠＜ネットタイム枠・ローカルタイム枠・スポット枠＞で2022年10月受け入れスタート

日 時 2022年8月30日（火）15:00～16:00 Zoomウェビナー

講 師 沼澤 忍（電通）、藤井 康正（電通）、成瀬 友弥（JPPA／デジタルエッグ）

参加者 700名（170社）

●YouTube 字幕CM協議会チャンネルに説明会動画公開。

(2)JPPA関西支部「字幕付きCMセミナー」

日 時 2023年1月17日（火）16:30～17:30 Zoomウェビナー

主 催 JPPA 関西支部

目 的 関西エリアにおける字幕付与作業（ポストプロダクション）増加のための啓発セミナー

講 師 沼澤 忍（電通）、藤井 康正（電通）、成瀬 友弥（JPPA／デジタルエッグ）

参加者 41名（JPPA会員社・ポストプロダクション）

(3)岡山市難聴者協会（協議会運営委員の講演）講師派遣

日本アドバイザーズ協会へ「字幕付きCM」の講演の要請があり対応した。

日 時 2023年2月26日（日）13:00～15:30

場 所 岡山市福祉文化会館2階ホール（岡山市中区小橋町一丁目1-30）

講 師 沼澤 忍（第8期字幕CM協議会・運営委員長）、日本アドバイザーズ協会事務局

参加者 40名

③字幕付きCM PORTAL WEB SITEの設置 https://www.jaaa.ne.jp/jimaku_cm_portal/

字幕付きCMのすべての情報を一元化し、JAAAウェブサイトに掲示した。

＜主な項目＞

●字幕付きCMに対する評価、効果等に関する調査 2022

●字幕付きCM普及促進チラシ（PPT、PDFデータ）

●説明会動画

●「字幕付きでCMをオンエア！」 JAAA レポート掲載記事＜字幕付きCM情報記事＞

④字幕付きCMのデータについて

(1)調査会社と相談

放送割合の調査を行う場合字幕付きCMメタ情報が必要であり、さらに目視調査等追加の要素が必要で当調査の実施は困難。（2022年9月）

(2)広告EDIセンターCMオンラインにおける字幕付きCMの送稿割合

2023年3月「全素材タイプ数5,891」「字幕CMタイプ数426」「字幕CMタイプ比率（字幕タイプ総数全素材タイプ総数）7.2%」「字幕CM作成広告主62社」

(3)日本ポストプロダクション協会（JPPA）字幕付きCM対応会員社受注状況（制作本数）

JPPA事務局で会員社の受注本数を調査。2022年度は、対前年各月約 200～300%を超える制作本数で推移。制作数の年度別合計は、2021年度の全制作数は822本、2022年度は1,432本で増加傾向。

引き続き、字幕付きCMのデータについては協議会として検討を行う。

6. 有事の際のテレビ広告対応ワーキンググループ

①「大規模な災害・事件の際のテレビCM素材差し替えに関する指針」について

○12月19日に日本アドバイザーズ協会（JAA）テレビ・ラジオメディア委員会名による「大規模な災害・事件の際のテレビCM素材差し替えに関する指針」についてJAA会員社に周知したとの連絡。

○同インフォメーション文書を、12月20日にJAAA会員社に連絡。

○方針概要～有事対応CM差し替えについて～

2022年7月8日に発生した安倍元首相銃撃事件後、日本アドバイザーズ協会では会員社にCM差し替えに関する事後アンケート実施。会員社から「ACに差し替える基準は？」との質問が多数あり、その解決を行うため「差し替え本数の最少化を念頭においた素材切り替えに関する『基本的な考え方』を確立」した。

＜基本的な考え方＞

（CM素材の内容、各社の事情による個別判断がある前提で）番組の編成と基本連動して、広告の差し替えを判断することを「基本的な考え方」とする⇒通常通りの番組に戻れば、通常CMを放映。

②『有事懇談会』などの実施を検討

・ACジャパン等、有事の対応災害素材制作についてヒアリング等行った。

7. リアルタイム配信（同時配信）について

①在京5社リアルタイム配信（同時配信）説明会開催

(1)テーマ「リアルタイム配信動向レポート」

日 時 2022年6月30日（木）12:00～13:00 Zoomウェビナー

説明者 在京5社同時配信サービス営業WG

参加者 498名

(2)テーマ「2023年4月セールスについて」

日 時 2022年10月19日（水）12:00～13:00 Zoomウェビナー

説明者 在京5社同時配信サービス営業WG

参加者 300名

②リアルタイム配信のセールスに関して（キー5局セールス方針の説明）

2022年12月13日開催テレビ委員会で「2023年4月～リアルタイム配信広告セールスについて」説明を受けた。

説明者 在京5社同時配信サービス営業WG

主査 栖原 啓明（テレビ朝日 セールスプロモーション局オンラインビジネス部長）

副主査 川越 洋平（TBSテレビ DXビジネス局DX営業部長）

③会員社にリアルタイム配信情報連絡の実施

(1)2022年4月27日開催「TVer Biz Conference 2022」の周知

TVer 主催オンライン (セミナー等を会員社に連絡)

(2)リアルタイム配信リリースの連絡

- ・ 2022年4月8日 在京5社同時配信サービス営業WGからの『リアルタイム配信の告知に関して』文書を会員社に連絡。
- ・ 2022年9月1日 在京5社リアルタイム配信「10～3月のトライアルセールスについて」を会員社に連絡。
- ・ 2022年12月16日 「リアルタイム配信視聴動向調査レポート」を会員社に連絡。

8. 「放送確認書誤記載調査」について

①「放送確認書誤記載調査 (2021年下期)」 調査実施

調査期間 2021年10月～2022年3月

対 象 テレビ委員会・放送確認WG

締め切り 2022年6月24日 (金)

調査参加会社 14社 (I&S BBDO、朝日広告社、ADKマーケティング・ソリューションズ、オリコム、ジェイアール東日本企画、電通、東急エージェンシー、日本経済広告社、日本経済社、博報堂DYメディアパートナーズ、ビデオプロモーション、フロンテッジ、毎日広告社、マッキャンエリクソン)

集計報告 番組＝誤記載141件

スポット＝誤記載276件

②「放送確認書誤記載調査 (2022年上期)」 調査実施

調査期間 2022年4月～9月

対 象 テレビ委員会・放送確認WG

締め切り 2022年11月25日 (金)

調査参加会社 14社 (I&S BBDO、朝日広告社、ADKマーケティング・ソリューションズ、オリコム、ジェイアール東日本企画、電通、東急エージェンシー、日本経済広告社、日本経済社、博報堂DYメディアパートナーズ、ビデオプロモーション、フロンテッジ、毎日広告社、マッキャンエリクソン)

集計報告 番組＝誤記載95件

スポット＝誤記載221件

③放送確認WG開催について

(1)日 時 2022年7月5日 (火) 13:00～14:00

2021年度下期放送確認書誤記載調査集計報告 (案) の確認。

(2)日 時 2022年12月8日 (木) 11:00～12:00

2022年度上期放送確認書誤記載調査集計報告 (案) の確認。

9. テレビ広告懇談会 (テレビ広告取引に関する民放連・業協懇談会)

①日 時 2022年8月1日 (木) 16:00～17:00

下記議事について、日本民間放送連盟と情報共有と意見交換を行った。

- ・ 2021年度下期放送確認書誤記載調査結果報告
- ・ 字幕付きCM普及推進協議会について

- ・オンライン運用最新状況
- ・民放連研究所「テレビの広告効果に関する研究」第2回調査結果共有

②日 時 2023年2月6日（月）16:00～17:00 Teams

下記議事について、日本民間放送連盟と情報共有および意見交換を行った。

- ・2022年度上期放送確認書誤記載調査結果報告
- ・字幕付きCM普及推進協議会について
- ・オンライン運用最新状況

・ラジオ委員会（委員長：木村直之）

4月26日、7月19日、10月28日、12月12日、1月26日

1. 委員の交替

永井 彰（朝日広告社）⇒ 山岸 啓人（同社）
 後藤 伸二（クオラス）⇒ 飯田秀一郎（同社）
 小野寺幸宏（電通）⇒ 井上 宣明（同社）
 諸我丈太郎（東急エージェンシー）⇒ 田口 義典（同社）
 佐々木秀徳（日本経済広告社）⇒ 都築 良治（同社）

2. 副委員長の互選

副委員長 井上 宣明（電通）

3. 民業ラジオCM運行合同WGについて

①民放連・JAAAラジオCM運行合同WGの開催

日 時 2022年10月28日（金）10:30～11:30

議 事 ラジオCMのラウドネス、CM素材のノンモン、他
 ※民放連ラジオCM運行WGからの提案を受けた。

②JAAAラジオCM運行WGの開催

日 時 2022年11月17日（木）13:00～13:45

議 事 民放連提案 民放連からの協力依頼文書「ラジオCMにおけるラウドネス規定導入・無音部分設定について」2022年11月18日付を基に協議。ラジオ委員会においても検討を依頼。

※ラジオCM「ラウドネス規定導入・無音部分設定」提案については、ラジオ委員会で検討し、回答書を2月1日に民放連へ提示した。その後、3月1日に民放連・ラジオCM運行部会部会長および当協会ラジオ正副委員長らで意見交換を実施し、ラジオCMの音声本編搬入を視野に入れた検討を行うこととした。

4. ラジオCM素材オンライン運用について

①〔ラジオCM運行ワーキンググループ〕

ラジオCM運行WGの開催

日 時 2022年6月10日（金）14:30～15:00

議 事 (1)民放連側からのRadi Posニーズへの対応
 (2)JAAA広告会社Radi Posニーズの掘り起こし

②〔ラジオオンライン技術サブワーキンググループ〕⇒毎月開催

- ・OL運用素材・進行表に関するユーザーインターフェイスの更新、システム障害修正についてシステム会社を交え検討・意見交換を実施。
- ・Radi Pos3.0ラジオCM枠のシステムによる取込研究

③Radi Pos オンライン運用状況

(1)素材数報告

2022年度年間本数は、60,433本でオンライン運用開始（2017年4月）からの累計は373,426本となった。

2023年3月の搬入本数は、7,105本、広告主数 436社であった。

5. ラジオCMに関する研究

①ラジオ委員会 4月26日 今期活動に関する意見交換を実施

②ラジオ委員会 7月19日

「Spotify Ads Overview for JAAA」ヒアリング

説明者 竹田 雅典（Spotify アカウントディレクター）

③ラジオ委員会 10月28日

「ラジオ局が実践しているDX施策について」ヒアリング

説明者 嶋 裕司（エフエム東京 執行役員）

・新聞委員会（委員長：榎本規成）

1月31日

1. 委員の交替

新井 秀夫（電通）⇒ 林 朗子（同社）

2. 副委員長の互選

副委員長 林 朗子（電通）

3. 新聞広告掲載確認調査の実施

①日本新聞協会調査結果

2022年度4月～12月 全件（※）問題なし

※全件＝日本新聞協会会員全社およびデイリースポーツ

2022年12月以降、日本新聞協会会員社数は98社に変更。

◎受領後、都度、日本アドバタイザーズ協会に報告。

②第三者機関のモニタリング調査

(1)概要 第三者機関を選定し、日本新聞協会加盟新聞社を対象に年1回調査。

調査紙、調査ターゲット広告および実施日については当協会で選定。

- ・調査目的 指定広告主の広告が、指定調査日発行の新聞全版（初版～最終版）に掲載されているかを確認する。
- ・確認内容 ①広告主名 ②スペース（段数）
- ・掲載調査日 2022年11月22日（火）
- ・調査対象 全国紙、ブロック紙、地方地、スポーツ紙、専門紙・夕刊紙 計141紙／220版
- ・確認ターゲット広告数 715
- ・第三者機関 日本デیلیー通信社

- ・調査結果 すべての広告掲載を確認

◎日本アドバタイザーズ協会・日本新聞協会へ3月に報告を行った。

4. 新聞広告の価値向上

①日本アドバタイザーズ協会・日本新聞協会共催セミナー

JAAA新聞委員会としてパネルディスカッションに協力。

テーマ 「SDGs時代のパーパスブランディングと新聞広告の役割」

日 時 2022年11月21日(月) 14:00～15:35

コーディネーター 山崎 博司(博報堂/2021年クリエイター・オブ・ザ・イヤー)

パネリスト 松村 順平(サントリーホールディングス 宣伝部新聞メディア担当課長)

足立 昭博(パナソニック 戦略本部CCXOチームシニアデザイナー)

小沢 謙介(明治 宣伝部ブランド1Gグループ長)

②プロセスイノベーションの研究～新聞広告掲載紙のデータ納品に向けた取り組み～

電通・博報堂DYメディアパートナーズによるワーキンググループにて対応。現在でも新聞広告の納品は「掲載紙現物」であり、業務の効率化やリモートワークの障壁となっている。また昨今、得意先も保管スペース事情が変わってきているのではないかという仮説の下、デジタルデータの納品に向けフロントラインの実態調査を2022年8～9月実施。新聞業務の多い営業担当者(調査対象社120社)に対しアンケートを行った。

結果、予想外に掲載紙現物納品に対するニーズは強く、デジタル納品への置換に向けてはクリアすべき課題が多いことが分かった。新聞掲載紙のスキャンによる業務プロセス改善についてはいったん見送り、納品業務効率化に向けた別方策を検討していく。

・雑誌委員会(委員長:前川昌子)

5月26日、2月7日

1. 委員の交替

石川 豪(I&S BBDO)⇒ 末永 淳子(同社)

牧野雄一郎(ジェイアール東日本企画)⇒ 甲斐 久善(同社)

里見 文崇(電通)⇒ 金原 亨(同社)

森 紀一郎(博報堂DYメディアパートナーズ)⇒ 前川 昌子(同社)

2. 委員長・副委員長の互選

委員長 前川 昌子(博報堂DYメディアパートナーズ)

副委員長 金原 亨(電通)

3. 雑誌広告デジタル送稿推進協議会の開催/オンライン送稿に関する現状の確認

- ・雑誌広告デジタル送稿推進協議会関連(以下、デジ協)について

ーデジ協委員会のメンバーに正副委員長各社より委員を派遣

ーデジタルセンド社の新オンライン送稿システムについて

<DSweb登録社数(2023.1月現在、〔〕内は昨年)>

広告会社: 74社(原稿制作代理店も含む)〔72社〕

出版社: 30社〔30社〕

制作・製版会社: 43社〔32社〕

印刷会社： 13社〔13社〕
＜オンライン送稿数の推移 2022年1月～12月＞
7,994本〔8,558本〕

・交通広告委員会（委員長：青柳淳英）

10月4日、1月23日

1. 委員の交替・補充

＜交替＞

杉本 隆（ADKマーケティング・ソリューションズ）⇒ 南 庸子（同社）

菊田 眞弘（NKB）⇒ 青柳 淳英（同社）

古澤 彰浩（オリコム）⇒ 安藤 亮司（同社）

木村 喜朗（東急エージェンシー）⇒ 若菜 春孝（同社）

芦刈 英雄（TOMOE）⇒ 橋本 謙治（同社）

水野 勝太（博報堂DYメディアパートナーズ）⇒ 高橋 隆晃（同社）

関根 博和（メトロアドエージェンシー）⇒ 諏訪 裕也（同社）

＜補充＞

市東 宏規（デイリースポーツ案内広告社）

2. 委員長・副委員長の互選

委員長 青柳 淳英（NKB）

副委員長 安藤 亮司（オリコム）

3. 交通広告の価値向上に関する活動

①交通広告セミナーについて

日 時 2023年3月7日（火）15:00～16:00 Zoomウェビナー

内 容 第一部 広告主から見たOOH媒体 ―時代の変化に対する考え方と工夫―

講 師 風間 由也（マイナビ 転職情報事業本部広告企画部部長）

第二部 世界のOOHの潮流とプログラマティックOOHの現況

講 師 櫻井 順（デジタルサイネージコンソーシアム 理事/

LIVE BOARD 代表取締役社長）

対 象 JAAA会員社（参加費無料）

参加者 288名

②OOH新共通指標策定プロジェクトについて

委員会にて随時進捗のヒアリングを行った。

4. 関係団体との連携と情報交換

・交通広告共通指標推進プロジェクトについて

2013年より交通広告アカウンタビリティ向上を目的に、日本鉄道広告協会および関東交通広告協議会とデータ整備に取り組んでいる。2022年度の成果報告については、2023年3月に会員社宛にリリースを配信した。

・インターネット広告委員会（委員長：石川直樹）

9月8日、12月19日

1. 委員の交替

川上 宗一（電通デジタル）⇒ 瀧本 恒（同社）

2. JICDAQ（一般社団法人デジタル広告品質認証機構）

＜参画委員＞

JICDAQ運営委員会委員 石川 直樹委員長（博報堂DYメディアパートナーズ）

JICDAQ審議委員会委員 本間 崇司委員（セプテーニ）

清家 直裕委員（ADKマーケティング・ソリューションズ）

JICDAQ業務執行理事 橋爪恒二郎（JAAA専務理事）

①登録・認証状況（※毎月更新。（）は前期報告時）

2023年1月現在 登録アドバイザー 111社（104社）

登録事業者 164社（147社）

品質認証事業者 132社（111社）

賛助登録事業者 2社（2社）

〔新設〕サポート官公庁 1自治体

②関係セミナー・イベント

・「アフィリエイトプログラムを利用した広告に関する表示規制」ウェビナー（JIAA共催）

日 時 2022年9月13日（火）15:00～17:00

講 師 南 雅晴（消費者庁 表示対策課課長）

・デジタル広告リスク管理セミナー

日 時 2022年11月2日（水）16:00～17:00

対 象 サポート官公庁登録自治体（東京都）

内 容 デジタル広告の基礎知識と課題について、発注時の留意点について、JICDAQの沿革等

③JICDAQセミナー（周年記念）

日 時 2022年11月28日（月）17:00～18:00

会 場 コートヤード・マリオット銀座東武ホテル

対 象 登録アドバイザー、サポート官公庁登録自治体関係者、登録事業者、メディア等

内 容 モニタリング結果の報告、関係委員によるセッション等

※その他、JICDAQにて随時説明会、セミナーを実施

3. 海賊版サイトへの対応について

①コンテンツ海外流通促進機構（CODA）オンライン定期協議（事務局級）

日 時 2022年 6月28日（火）14:00～15:00

2022年12月23日（金）10:00～11:00

②第4回オンライン「海賊版サイトへの広告出稿抑制に関する合同会議」

日 時 2023年 2月 9日（木）16:00～17:00

出席団体 コンテンツ海外流通促進機構（CODA※会議事務局）、

JAA、JAAA、JIAA、経済産業省、出版広報センター、日本動画協会

※JAAAからは石川委員長と事務局が出席

- ・「著作権侵害に関する要警戒リスト（CODAリスト）」の共有、運用状況についての情報交換
- ・「WIPOアラート（ワイポアラート）」の利用準備：CODAを介した世界知的所有権機関とのグローバルな違法サイトやアプリへの対策の共有等

4. アフィリエイトに関する発注ガイドラインについて

内閣府の「事業者が講ずべき景品類の提供及び表示の管理上の措置についての指針」を受けて、アフィリエイト広告が「広告」である旨を一般消費者にも明確に伝わるような（望ましい）表示にアップデートすることを含めた改訂案の検討を開始した。

検討・改訂内容については、当協会の「アフィリエイトに関する発注ガイドライン」および「アフィリエイト業務に関する覚書（JAAAモデル案）」にも反映させる。

・メディア調査研究委員会（委員長：河村徹生）

5月9日

1. 委員の交替

佐藤 新（博報堂）⇒ 藤原 将史（同社）

2. ビデオリサーチ社ヒアリング

下記についてビデオリサーチ社より説明を受け意見交換を行った。

- ①R&F+パラメータの更新概要とコロナ禍の影響分析
- ②タイムシフト視聴率異常時点について
- ③2022年度エリア内推定人口の更新スケジュールについて

3. ビデオリサーチ「視聴率データ異常値」対応について

- ・特定時点のタイムシフト視聴率において、突出して高いスコアとなるケースが発生（測定機器のシステムトラブルによる事象）
- ・タイムシフト視聴率のCM枠に関しては、「C7」としてテレビスポット取引に採用されていることから、テレビ委員会と協働で、本問題に対応
- ・「全異常時点の抽出」「視聴率修正方法」「再発防止策」などについて、VR社との検討／協議、日本アドバタイザーズ協会への説明／報告を実施
- ・ビデオリサーチから各広告会社へ修正視聴率データを分割して再納品中

・メディア業務改善委員会（委員長：井上 聡）

5月23日、1月30日

1. 委員の交替

入岡 祥隆（朝日広告社）⇒ 永井 彰（同社）

大島 望（博報堂DYメディアパートナーズ）⇒ 津田 正志（同社）

池上 巧（東急エージェンシー）⇒ 平澤 俊哉（同社）

2. 副委員長の互選

副委員長 淵上有理子（博報堂DYメディアパートナーズ）

3. 水曜定例「普及プロジェクト」Microsoft Teams会議の継続実施

①テレビCMオンライン運用開始5年目

2017年10月より開始したテレビCMのオンライン運用が2022年10月で丸5年。2023年3月31

日までの累計送稿本数は1,842,692本。(広告EDIセンター調べ)

②媒体扱い広告会社不在時のオンライン送稿代行業務(送稿権限付与)の確立

テレビ委員会・営業委員会・当委員会で、アンケートを行い、放送局が自社で送稿を行うケースの運用を確立。2023年度4月より運用開始予定。

③民放連加盟局以外とのオンライン運用の開始

CAB-J加盟CS局とオンライン運用の相談を行い、2023年2月1日O.A分から順次運用をスタート。

④次世代CMDeCoのクラウドストレージ連携方式の導入を開始

送受信サーバーの耐用年数の対応のため、オンライン運用スタートが早かった放送局から順次クラウドに置換。

⑤広告会社オンライン運用実態のアンケート調査の実施

全国100%普及を目指し、全日本広告連盟の加盟広告会社、全国広告業団体連絡会議の各地区広告業協会の会員広告会社へ向けオンライン送稿に関する認識、対応状況調査を実施。今後の課題の洗い出し、説明会対応などを聞いた。

※実施期間 2022年12月6日～2023年1月20日

※アンケート回答社数 102社

4. CM素材オンライン運用推進プロジェクトの運営・実施

＊CM素材オンライン運用推進プロジェクト参照

5. 放送確認書の次世代方式(ペーパーレス化)の検討について

日本民間放送連盟の委員改選が7月行われるタイミングのため、民放連の新体制が固まったのち、検討を行った。

・リーダー会合

日 時 2022年12月7日(火) 11:30～12:10

場 所 電通銀座ビル・応接会議室

内 容 放送確認書の次世代方式(ペーパーレス化)の検討、振り返りと今後について

6. その他

・広告EDIセンターの課題対応

オンライン運用の送稿素材数や広告主の数が進展する中、関係ステークホルダーからヒアリングを行い、天災や通信障害トラブル時などの緊急時のBCP対応やサイバーテロなどのセキュリティ対策について検討し、広告EDIセンターへ提言を行った。

・素材搬入事業者との情報共有と業務改善へのご協力のお願い

素材搬入事業者情報共有会より、オンライン送稿サービス利用時のご意見やご要望を伺い、「CM素材オンライン運用時の業務改善へのご協力のお願い」の文書を作成し、素材搬入事業者(全9社)へ送付した。

・CM素材オンライン運用推進プロジェクト(リーダー: 外山善太)

1. プロジェクト会議の開催

・第37回プロジェクト会議の開催

日 時 2022年5月24日(火) 11:00～12:00

- 議 事 (1) メンバーの交替・補充
(2) CM素材オンライン運用最新状況の共有
(3) 広告会社が存在しない場合のオンライン送稿方法について
(4) 2021年度事業報告並びに2022年度事業計画について

・第38回プロジェクト会議の開催

日 時 2022年12月14日(水) 15:00～16:00

- 議 事 (1) メンバーの補充
(2) CM素材オンライン運用最新状況の共有
(3) 広告会社オンライン運用実態調査(各エリア広告会社対象)

2. ステークホルダーの対応

①素材搬入事業者向け説明会・情報共有会の開催協力

素材搬入事業者アドストリームジャパン、Group IMD Japan、フォトロン、音響ハウス、日本電気、ブロードメディア、イメージスタジオイチマルキュウ、オムニバス・ジャパン、ユーキャン・アドに、オンライン運用の最新状況の共有と次世代CMDeCoの導入説明を行った。

・第1回「JAAA 素材搬入事業者 説明会及び情報共有会」

説明者 外山 善太(プロジェクトリーダー)、末廣 宇史、大島 望(広告EDIセンター)

日 時 2022年7月27日(水) 15:00～16:00 Teams

参加者 素材搬入事業者9社(45名)

- 内 容 1) CMオンライン送稿の最新状況
2) テレビCM素材搬入基準改定内容について
3) 次世代CMDeCo導入に向けて、CAB-J参加について
4) 広告EDIセンターからの技術解説について
5) 素材変換ビジネスの現況について
6) 質疑応答

・第2回「JAAA 素材搬入事業者 説明会及び情報共有会」

説明者 外山 善太(プロジェクトリーダー)、末廣 宇史、大島 望(広告EDIセンター)

日 時 2022年11月22日(火) 14:00～15:00 Teams

参加者 素材搬入事業者9社(52名)

- 内 容 1) 広告業及び素材搬入事業における最新状況と課題の共有
2) 搬入本数の開示について
3) CAB-J加盟局22社のオンライン送稿開始について
4) 媒体扱い広告会社業務代行委託サービスについて
5) 最近のCC字幕付与作業関連の状況ヒアリング
6) 質疑応答

②衛星テレビ広告協議会(CAB-J)との情報共有会の開催協力

CAB-J幹部と会員加盟社に、オンライン運用の最新検討状況と、CS放送局における次世代CMDeCoを利用したオンライン送稿のクラウドストレージ連携方式の導入について、説明を行った。

・第1回「CAB-J幹部向け情報共有会」

- 日 時 2022年6月23日（木）13:00～14:00 Teams
内 容 1）テレビCM素材オンライン運用の最新状況について
2）CMDDeCoストレージ連携方式導入に向けて
3）質疑応答

・第2回「CAB-J会員加盟社向け情報共有会」

- 日 時 2022年7月19日（火）16:30～17:30 Teams
内 容 1）テレビCM素材オンライン運用の最新状況について
2）CMDDeCoストレージ連携方式導入に向けて
3）質疑応答

3. テレビCMオンライン運用説明会の実施

新型コロナウイルス感染予防対応のためリアル説明会をストップしていたが、ローカルエリアにおけるオンライン運用促進のため、まだオンライン運用を行っていない広告会社をターゲットとして説明会を実施した。また、放送局と意見交換を実施した。

①岡山説明会

- 日 時 2023年2月27日（月）13:30～15:00、15:30～17:00
場 所 RSK山陽放送丸の内社屋（旧社屋）4階会議室
参加者 広告会社テレビ担当者（10社17名）・放送局営業担当者（5局16名）

②高松説明会

- 日 時 2023年2月28日（火）13:30～15:00、15:30～17:00
会 場 西日本放送1Fホール
参加者 広告会社テレビ担当者（12社18名）・放送局営業担当者（5局16名）

・OOH新共通指標策定プロジェクト（リーダー：三池 元、高橋隆晃）

OOH新共通指標策定プロジェクト／第一回OOH統合キャンペーン実証実験 効果測定調査報告説明会を会員社向けとOOH関係団体会員社向けにZoomで開催した。

テーマ 第一回OOH統合キャンペーン実証実験効果測定調査報告

講 師 プロジェクトメンバー 中野 雅之（電通 アウト・オブ・ホーム・メディア局データ開発部
シニア・トランスフォーメーション・プロデューサー）

- 日 時 <会員社向け> 2022年11月10日（金）14:00～15:00（参加者116名）
<OOH関係団体会員社向け> 2022年12月7日（水）14:00～15:00（参加者152名）

◆クリエイティブ委員会（担当理事：藤沼大輔 委員長：能登健裕）

7月8日、11月7日、2月9日、3月8日

1. 委員の交替

大橋 一仁（朝日広告社）⇒ 山極 和弘（同社）
中村猪佐武（マクキャンエリクソン）⇒ 石原 和（同社）

2. 2021年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞 発表・表彰について

①発表

第327回理事会（3/25（金）開催）の承認後、発表。

ウェブサイトへの掲出、関係各所へのニュースリリース発送。

②表彰・臨時増刊号の発行

2022年5月31日（火）、定時総会 贈賞・表彰式にて表彰（ライブ配信も実施）。

JAAA REPORTS臨時増刊号の発行。

【表彰盾、メダル】

- ・2021年CREATOR OF THE YEAR 1名 …金盾
- ・2021年CREATOR OF THE YEAR MEDALIST 8名 …メダル

【JAAA REPORTS臨時増刊号】

「2021年クリエイターズ・オブ・ザ・イヤー特集（No.811）」制作

- ・発行日：2022年5月31日
- ・印刷部数：5,500部
- ・配布先：会員各社、関係団体等に配布、PRを推進。

3. 2021年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞 受賞者講演について

クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者による講演をコーディネーターの中村委員がモデレーターとなり開催した。

①クリエイター・オブ・ザ・イヤー山崎 博司（1名）の講演ライブ配信

第85回JAAAクリエイティブ研究会

2021年クリエイター・オブ・ザ・イヤー山崎博司さんが語る「広告の拡張。コピーの拡張。」

日 時 2022年11月29日（火）14:00～15:30 Zoomウェビナー

講 師 2021年クリエイター・オブ・ザ・イヤー 山崎 博司（博報堂）

参加費 無料

参加者 422名

②各地業協との研究会開催（リアル）

【札幌】第40回HAAAクリエイティブ研究会

日 時 2022年10月14日（金）13:30～16:00

会 場 札幌グランドホテル

講演者 山崎 博司（博報堂）、北田 有一（電通）、小笠原潤（グレイワールドワイド）

参加者 60名（前回2019年:151名）

【浜松】第18回SAAAクリエイティブ研究会

日 時 2022年10月20日（木）13:30～16:00

会 場 アクトシティ浜松

講演者 山崎 博司（博報堂）、上島 史朗（フロンテッジ）、
関谷“アネーロ”拓巳（TBWA\HAKUHODO）

参加者 380名（前回2019年:275名）

【大阪】第41回OAAAクリエイティブ研究会

日 時 2022年10月27日（木）13:30～16:00

会 場 中之島会館

講演者 山崎 博司（博報堂）、市之瀬浩子（TBWA\HAKUHODO）、田中 直基（電通）

参加者 54名（前回2019年:146名）

【福岡】第38回JAAAクリエイティブ研究会・福岡

日 時 2022年11月8日（火）18:00～20:30

会 場 エルガーラホール

講演者 山崎 博司（博報堂）、皆川壮一郎（博報堂ケトル/博報堂）、
石川 隆一（電通デジタル）

参加者 407名（前回2019年:604名）

【名古屋】第69回名広協クリエイティブ研究会

日 時 2022年12月5日（月）14:00～16:30

会 場 JPタワー名古屋ホール

講演者 山崎 博司（博報堂）、北田 有一（電通）、市之瀬浩子（TBWA\HAKUHODO）

参加者 98名（前回2019年:108名）

【岩手】令和4年度 岩手県広告業協会 社員研修セミナー

日 時 2022年11月17日（木）13:30～15:50

会 場 おでってホール

講演者 上島 史朗（フロンテッジ）、関谷“アネーロ”拓巳（TBWA\HAKUHODO）

参加者 110名

【山形】第39回YAAA広告セミナー

日 時 2023年1月26日（木）13:20～16:30

会 場 ホテルメトロポリタン山形

講演者 上島 史朗（フロンテッジ）、他1名

参加者 97名

4. 2022年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞について

①2022年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞キービジュアルについて

募集ビジュアル制作は三晃社が担当し、ビジュアル案についてはメール投票で決定した。

2022年キービジュアル「変化の時代に、怪物は現れる。」

②事業全体スケジュール

—2022年—

12月1日（木） 募集開始

—2023年—

1月31日（火） 募集締切

2月上旬 応募要件・DVD確認、審査方法確認

3月8日（水） 審査会・クリエイティブ委員会

3月24日（金） 第332回理事会・受賞者発表

5月31日（水） 2023年度定時総会・表彰式

JAAA REPORTS臨時増刊号（COY特集号）発行

③審査

25名（18社）のノミネートがあり、事前に審査員には「審査資料」「応募動画」を展開し審査基準で評価、事前審査シートの提出を依頼した。審査会当日は、事前審査シートの結果をもとに協議を行い、クリエイター・オブ・ザ・イヤー1名、クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メ

ダリスト7名を選出した。

5. クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の多様性について

委員に行った「JAAAクリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の多様性について」アンケートをもとに意見交換を行い、今後の進め方について下記の通りとした。

- ・ 次回の賞から何らかの対応をスタートする（2023.12募集開始、2024.3審査）
- ・ 多様性の第一歩として、まずはジェンダー平等から検討を進める
- ・ 審査員に外部（会員外）の方を加えるかどうかを委員会で早めに判断する
- ・ 具体的な案を検討するために、少人数のチーム（WG・プロジェクト等）を立ち上げる
＜「JAAAクリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の多様性について」アンケート＞

期 間 2023年1月17日（火）～27日（金）

設 問 ①賞の審査委員の多様性を担保するための意見・提案・アイデア等

②クリエイティブ部門社員における男女人数もしくは比率

③クリエイティブ部門におけるマネジメント層社員の男女人数もしくは比率

④その他

◆マネジメント委員会（担当理事：桑原常泰）

傘下の8つの事業委員会委員長と一部ビジネス統括委員会参加の委員会委員長を委員とし、人材・働き方・社会課題テーマなど会員社のコーポレートガバナンス・業界全体のマネジメント課題を共有・議論を行った。

・人材育成委員会（委員長：太田理奈子）

9月14日、12月12日、2月10日、3月9日

1. 委員の交替

鹿野 和夫（I&S BBDO）⇒ 中条美由紀（同社）

松浦 啓子（オリコム）⇒ 大木 志信（同社）

澤田 桐智（東急エージェンシー）⇒ 加藤 千絵（同社）

小岩井由紀子（マッキンゼーエリクソン）⇒ 伊奈 仁（同社）

2. 委員長の互選

委員長 太田理奈子（読売広告社）

3. 第49回新入社員教育セミナー

日 程 2022年4月5日（火）～4月8日（金） 9:30～16:30（4日間）

形 式 Zoom

参加費 33,000円（1名税込）

参加者 90名20社

内 容 ・オンラインコミュニケーションは全13グループ

・テキストとして「広告ビジネス入門」を使用

・グループディスカッションのテーマ

「十年後の広告ビジネスの可能性を考える

～十年後の日本社会と広告業界のあり方を踏まえて～」

4. 第27回フォローアップセミナー

日 程 2022年12月1日（水）～12月2日（木） 10:00～15:00（2日間）

形 式 Zoom

参加費 11,000円（1名税込）

参加者 54名10社

構 成 [1日目]先輩パネリストによるパネルディスカッション

パネリスト 花見 雅葵（朝日広告社）

岡田 大毅（ADKクリエイティブ・ワン）

服部かな子（日本経済社）

野村 葉菜（読売広告社）

ブレイクアウトセッション

[2日目] 2021年度クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリスト講演

講 師 皆川 壮一郎（博報堂ケトル）

関谷“アネーロ”拓巳（TBWA\HAKUHODO）

ブレイクアウトセッション

・広告ビジネス入門発行委員会（委員長：荘司康友）

7月29日

1. <新版>『広告ビジネス入門』第24版

昭和58年に初版を発行し、広告会社の新入社員の入門書として春先の発行から、今版より9月に発行することとした。

版 形 A4判 215頁

発行日 2022年9月26日

部 数 4,000部

・懸賞論文委員会（委員長：中西知行）

4月21日、10月13日、3月14日

1. 委員の交替

政時 祐子（I&S BBDO）⇒ 高澤 正行（同社）

太古 益樹（日本経済広告社）⇒ 斎院 広康（同社）

河内 茂（日本経済社）⇒ 深澤 博（同社）

浜田 茂（読売広告社）⇒ 中村 信介（同社）

2. 委員長の互選

委員長 中西 知行（フロンテッジ）

3. 第51回懸賞論文について

①表彰式

日 時 2022年5月31日（火）（定時総会 贈賞・表彰式）

会 場 東京會館

②入賞・入選

『論文』 課題：新しい世界と広告

金賞 1編（1名）／銀賞 1編（1名）／銅賞 1編（1名）

『私の言いたいこと』

＜一般部門＞ 第1テーマ 広告ビジネス：2編（2名）

＜新人部門＞ テーマ自由：3編（3名）

※第2テーマ 広告プランニング、プレゼンテーション部門は該当なし

③入賞・入選作品集の発行（JAAAレポート臨時増刊号No.810）

発行日 2022年5月31日

版 型 B5判 91頁

部 数 4,600部

配布先 応募者、会員社、広告主、媒体社、関係団体、広告学会など

④広報施策

- ・「入賞・入選作品集」を一部、JAAAウェブサイトにてPDF掲載
- ・第47回より継続して、著者に許可を得た上でファイナリスト作品をJAAAウェブサイトにてPDF掲載。プレゼン部門は動画を掲載した。
- ・金賞受賞者のハイライト：アドタイに金賞作品要旨掲載、会員代表者懇談会講演の実施

4. 第52回懸賞論文募集について

①募集活動

2022年6月1日9時30分の募集開始にあわせ、ポスター・バナーデータを会員社に発送した（コロナ禍に端を発したリモートワークの拡大を踏まえ、今回よりチラシに代わりバナーデータにした）。また、JAAAレポート6月号に応募要項を掲載、9月30日17時に募集を締め切った。

【募集ポスター・バナーの制作】

制作会社 フロンテッジ

「広告は、まだ、幸福な仕事か？」

制作部数ほか ポスター（B3）1,000 部

バナー JAAAウェブサイト、各種SNS用など7種

②課題・テーマ

『論文』 課題：広告と幸福

『私の言いたいこと』

＜一般部門＞ 第1または第2テーマのいずれかを選択

第1テーマ／広告ビジネス、第2テーマ／広告プランニング

＜新人部門＞ 応募時26歳まで テーマ／自由

＜プレゼンテーション部門＞ テーマ／自由

③応募促進に向けた取り組み

(1)懸賞論文SNS

- ・「論文委員のつぶやき」

実施期間 2022年6月1日（水）～同年6月30日（木）※1日1回投稿

実施結果 Twitterインプレッション数 4,780（昨年4,141）

- ・「ファイナリストの執筆取り組み」

執筆の取組みについて投稿文の依頼。2名より寄稿があり投稿した。

(2) エントリー説明会

「受賞作品と自身の応募の取組みについて」

日 時 2022年7月14日（木）13:30～14:40 Zoomウェビナー

講 師 中町 直太（電通／第51回金賞）

松倉 俊光（博報堂／第51回一般入選）

丹野 和哉（メトロアドエージェンシー／第51回新人入選）

対 象 JAAA会員社（参加費無料）

参加者 114名22社（昨年117名22社）

※終了後、講演動画・講師資料・エントリー前のチェックリストをJAAAウェブサイト会員ページに掲載した。（掲載期間9/30まで）

(3) 受賞者座談会

「広告業界はどこへ向かうのか ～広告論文に見るヒント～」

日 時 2022年8月4日（木）17:00～18:00 Zoomウェビナー

モデレーター 河尻 亨一（編集者、銀河ライター主宰）

スピーカー 中町 直太（電通／第51回金賞）

大木 浩士（博報堂／第51回銀賞）

金丸 紀之（博報堂／第51回銅賞）

対 象 JAAA会員社、広告業界関係者（参加費無料）

参加者 115名38社

④ 応募数（＊第51回応募数）

第52回応募数

論文部門 22編（＊26編）

一般部門 第1テーマ 27編（＊29編）

一般部門 第2テーマ 9編（＊25編）

一般部門 計 36編（＊54編）

新人部門 123編（＊163編）

プレゼンテーション部門 3編（＊2編）

総数 184編（＊245編）

⑤ 審査方法とスケジュール

審査作品のPDFを配布し、希望者には紙配布を行った。

プレゼンテーション部門は応募数がわずかだったことから、前回同様第1次審査は無しとし、第2次審査にて各自点数評価することとした。

(1) 第1次審査

【方法】審査員を4グループに分け、各グループ新人部門30～31編、一般部門7～11編、論文5～6編について審査を行った。各自○×評価後、グループごとに検討の上、第1次通過作品を決定した。

【スケジュール】

・新人部門：2022年10月13日～11月16日 各自評価

11月17、18日 第1回グループ審査会

・論文/一般部門：2022年11月18日～2023年1月6日 各自評価

1月12、13日 第2回グループ審査会

(2)第2次審査

【方法】『論文』8編『私の言いたいこと』27編、総計35編を各審査員が、点数で評価した。

【スケジュール】2023年1月16日～2月17日

※剽窃チェックツール「コピペルナー」を導入し、第2次審査作品を解析した。コピペ率30%以上は注意喚起作品として査読を必要としていたが、該当作品はなかった。

(3)最終審査会

【方法】第2次審査結果を集計し、協議の上、入賞・入選を内定した。

【スケジュール】2023年3月2日～3日

『論文』 課題：広告と幸福

金賞 1編（1名）／銀賞 1編（1名）／銅賞 1編（1名）

『私の言いたいこと』

＜一般部門＞第1テーマ 1編（1名）／第2テーマ 1編（1名）

＜新人部門＞テーマ自由 2編（2名）

＜プレゼンテーション部門＞テーマ自由 1編（1名）

3月理事会にて承認後、ウェブサイト、広告専門誌・紙に発表、5月31日に表彰式を行う。

・海外交流委員会（委員長：高橋 修）

5月13日、2月7日

1. 委員の交替

尾野 則也（大広）⇒ 三上 智也（同社）

2. 海外研修について

海外研修派遣については、本年度も未実施。

3. 海外交流委員会企画セミナーについて

①テーマ グレイTokyoが「Spikes Asia 2022」でGrand Prixを受賞！

受賞の道のりと、その秘訣を明かす！

日 時 2022年7月7日（木）14:00～15:00 Zoomウェビナー

講 師 名古屋（グレイワールドワイド イグゼクティブ・プランニングディレクター）

対 象 JAAA会員社

参加者 120名

②テーマ Cannes Lions 2022 に見るクリエイティブDX

日 時 2022年9月9日（金）15:00～16:00 Zoomウェビナー

講 師 新沢 崇幸（Wunderman Thompson Tokyo CCO
/Cannes Lions Digital Craft 審査員）

対 象 JAAA会員社及び一般

参加者 220名

4. 海外広告関係団体への協力

①アドバタイジング・ウィーク・アジア2022（東京）への協力

AWA事務局より2022年5月30日～6月2日に六本木ミッドタウンで開催されたAWA2022について、無料パスの案内があり委員会および会員社全社にインフォメーションを行った。

②アドバタイジング・ウィーク・アジア（AWA）カウンシル・メンバーの推薦

AWA事務局よりAWA開催に関するテーマ、構成、形態など検討を行うカウンシル・メンバーの推薦依頼があり、海外交流委員会委員に呼びかけ、内山委員（Wunderman Thompson Tokyo）より下記の推薦があった。

＜AWAカウンシル・メンバー＞

新沢 崇幸（Wunderman Thompson Tokyo CCO）

・イノベーション委員会（委員長：加藤直樹）

8月8日、2月17日

1. 委員の交替

半田 浩和（マッキンゼーエリクソン）⇒ 白崎 薫（同社）

山脇 拓雄（読売広告社）⇒ 篠田 孝介（同社）

2. 委員長＝審査委員長

2022年度（第10回） 加藤 直樹（東急エージェンシー）

3. 第10回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞」ワーキングメンバーの交替、追加
＜交替＞

永田 彩乃（I&S BBDO）⇒ 東 美沙（同社）

板橋里緒菜（朝日広告社）⇒ 大山エミリー（同社）

江上さくら（ADKクリエイティブ・ワン）⇒ 佐藤 陸（同社）

本多 健人（ジェイアール東日本企画）⇒ 武田 陸（同社）

太田 有紀（大広WEDO）⇒ 櫻井 咲人（同社）

倉持 聡（東急エージェンシー）⇒ 大町 陸（同社）

内波 可菜（東急エージェンシー）⇒ 山本江美奈（同社）

＜追加＞

浅野 楓芽（メトロアドエージェンシー）

境 大空（メトロアドエージェンシー）

4. 第10回若手大賞イベント「U-30オフライン交流会」

日 時 2022年10月21日（金） 19:30～20:30

場 所 TIME SHARING 渋谷ワールド 宇田川ビル9F

内 容 30歳以下の若手が集まり、「好きな広告」や「悩みごと」等をフラットに語り合う場

参加者 23名

5. 第10回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞（JAAA若手大賞）」

10月31日で締め切った第10回「JAAA若手大賞」には124点の応募があり、実行WGメンバーによる第1次審査、第2次審査、最終審査をオンラインで行った。最終審査の大賞1件、優秀賞5件、特別賞1件の結果を承認した。

・PR委員会（委員長：山崎正道）

4月19日、7月5日、9月8日、10月19日、1月26日

1. 委員の交替・退任・補充

＜交替＞

杉山 仁美（I&S BBDO）⇒ 豊田 賢一（同社）

斉藤 雅史（ADKホールディングス）⇒ 石田 心平（同社）

谷本 卓哉（大広）⇒ 原田 裕美（同社）⇒ 青島 あや（同社）

平松 里保（東急エージェンシー）⇒ 高山 慶子（同社）

＜退任＞

岡 弘子（博報堂）

＜補充＞

良田 幸（オプト）

2. 「広告の広告」によるPR活動

「広告」の理解促進活動として「広告の広告」を制作、日本新聞協会並びに日本雑誌協会および日本雑誌広告協会加盟社の協力を得て、実施した。

①2022年度「広告の広告」について

■制作担当：朝日広告社

■広告原稿：※メインコピーをもとに①～③の3パターンで展開

メインコピー さあ広告には、何ができるだろうか。

ボディコピー ①広がることで、守れる未来だってある。いま、地球上にあるさまざまな問題を、ひとりの行動で解決することは難しいのかもしれない。だけど、一人ひとりが自分ごとのようにとらえて、みんなで行動することができたら。

②伝わることで、争いをなくすことだってできるかもしれない。いま、どこかで起こっている争いの原因が、小さなすれ違いや単なる誤解だとしたら。互いの想いを伝え、つなげることで、解決できるのかもしれない。

③つながることで、社会はもっと強くなれるのかも。それぞれが自分らしさを追求し、それぞれのやり方で輝ける時代。そんないまこそ、一人ひとりがもっとつながりあうことができたなら。

■2022年度「広告の広告」掲載実績

・新聞 日本新聞協会加盟社に、掲載協力を要請

スペース 半5段・半3段・全1段・突出

期間 2022年4月1日～2023年1月31日

掲載回数 3,732回（81紙）

金額換算 933,403,000円

・雑誌 日本雑誌協会・日本雑誌広告協会加盟社に、掲載協力を要請

スペース A4・A4変・A5・B5

期間 2022年4月1日～2023年1月31日

掲載回数 16回（8誌）

金額換算 12,800,000円

- ・JAAA REPORTS（会報誌）
スペース 表3
期 間 2022年4月～2023年3月
- ・JAAAウェブサイト
スペース メインビジュアル
期 間 2022年4月～2023年3月
- ・JAAA公式SNS
スペース カバー画像
期 間 2022年4月～2023年3月

②「広告の広告」マスメディアン連携企画の実施について

マスメディアンとのコラボ企画として、2022年度「広告の広告」制作クリエイター陣と広告に興味を持つ学生の座談会を8月23日に実施し、採録はマスメディアン運営のメディア系就活サイト「マスナビ」に掲載した。

タイトル 「広告の可能性を探る！ 現役の広告クリエイターへOB・OG訪問」

アクセス数 1,468 ＊集計期間 2022年9月29日～2023年1月19日

③2023年度「広告の広告」について

担当のADKマーケティング・ソリューションズより5案の提案があり、メインコピー「かっこいいほうが好き。」に決定した。

3. 学生向けPR施策の検討

事業計画に則り、広告・広告業界の魅力を、業界外（とりわけ若手）に対してPRするための施策を、数回にわたり議論した。2023年6月を目途に学生向けイベントを実施する予定とし、登壇するメンバーを業界若手社員とすることで、すでに広告業界で働く若手に改めて広告・広告業界の魅力を再発見してもらう狙いもある。イベント後は、協会オウンドメディア（JAAAウェブサイト・SNS等）を用いて展開していくことも計画している。

4. 協会広報活動

協会事業に関しニュースリリースの送付等を円滑に行った。また、協会オウンドメディア（会報・JAAAウェブサイト・SNS）を活用した広報を行った。

・会報編集委員会（委員長：高澤正行）

5月16日、7月12日（リアル）、9月16日、11月24日、1月24日

1. 委員の交替・補充

<交替>

谷本 卓哉（大広）⇒ 原田 裕美（同社）

高橋 庸江（東急エージェンシー）⇒ 泉 亜紀子（同社）

<補充>

市田 大吾（GMOアドパートナーズ）

堀越 達矢（双葉通信社）

2. 発行規模

①形 態 B5判 表紙共24ページ

- ②発行日 毎月1日
- ③部 数 3,700部
- ④配布先 会員社、各地区広告業協会、関係団体
広告学会、広研、業界紙、官公庁、その他、掲載誌・保存

3. 基本企画

・ビジュアル・トピック	表 2
・目次	1 P
・ひと・こと	1 P
・特 集	2～9P
・Fresh Eye～若手広告人Talkシリーズ～	10P
・ワールドレポート	11P
・それってほんとにサステナブル？（5-10月）	12～13P
サステナビリティ・ESG・SDGs（11-3月）	
・自治体のここに注目！「自治体×〇〇」PR	14P
・チーム力を発揮するヒント	15P
・顧客体験を起点としたOOHの未来	16～17P
・知ってトクする！広告人のための法律知識	18P
・字幕付きでCMをオンエア！	19P
・JAAA会員社巡り。	20P
・Information	20P
・協会活動	20P
・「広告の広告」	表 3

表 紙

- ・デザイン 電通
- ・テーマ PEOPLE

4. 特集企画

2022年

- 4月号「第9回JAAA若手大賞 審査結果発表」
- 5月号「『メタバース』広告が始まる」
- 6月号「withコロナ時代だからこそラジオが効く!!」
- 7月号「2022年度定時総会報告」
- 8月号「データビジネスにおけるELSI(エルシー)」
- 9月号「カンヌライオンズ2022レポート」
- 10月号「広告業界の人間が知っておくべきWeb 3 最新トレンド」
- 11月号「デジタル広告品質対応の現状と今後」
- 12月号「3D広告の可能性」

2023年

- 1月号「会長・理事長・副理事長『新春のひと・こと』」
- 「広告会社の年賀状」

2月号「AIが引き起こす革命とは？広告業界とAIの関係値」

3月号「広告業界におけるDE&Iの重要性～苦労の先に、何があるのか～」

「女性のエンパワメントは、未来の働き方を考えること。」

－新しい課題を発見・解決できる、イノベーションが生まれる組織へー

5. 表紙担当について

2023年度の表紙は担当の東急エージェンシーより提案があり、「Behind the colors」のテーマに決定した。

6. シリーズ企画について

2023年3月で終了するシリーズ企画の「サステナビリティ・ESG・SDGs」「チーム力を発揮するヒント」「顧客体験を起点としたOOHの未来」「字幕付きでCMをオンエア！」に代わり、2023年度からは新たに「広告ビジネス用語」「広告業界の先輩」「令和のコンプライアンス辞典」「シニア市場と未来予測」を開始することとした。

・DE&I委員会（委員長：北風祐子）

8月1日、9月26日、12月23日、2月28日

1. 委員会の発足

2022年度定時総会後、DE&I委員会を立ち上げ、当協会正副理事長会社所属の下記8名が委員に就任した。委員会発足に関するリリースを8月2日付で発行し、会員社・業界紙誌等に案内を行った。

伊藤 裕子（ADKホールディングス）

松岡 弘樹（ADKホールディングス）

原田 裕美（大広）

福井淳一郎（大広）

北風 祐子（電通グループ）

半澤絵里奈（電通グループ）

狗飼 豊（博報堂）

中島 静佳（博報堂DYホールディングス）

2. 委員長の選出

委員長 北風 祐子（電通グループ）

3. 「DE&Iアンケート調査」について

会員各社のDE&Iに関する現状を把握し基礎資料とするため、会員代表者を対象にアンケートを行った。

■調査概要

実施期間 2022年6月15日（水）～7月8日（金）

調査対象 JAAA会員152社

回答数 116社 ※一部グループ会社分が集約された回答あり

①アンケート結果の一部先行報告

調査の一部質問項目および集計結果を会員社限りとし、11月15日に文書にて報告を行った。

■ 報告事項

- ・ 男女別構成比率
- ・ 女性管理職比率
- ・ 女性役員比率
- ・ 男性育児休暇取得比率
- ・ 外国籍従業員比率

②「DE&Iアンケート調査」に関するリリース発行準備

(1)調査まとめ分科会

アンケート結果の考察を行うため、分科会を立ち上げメンバー間で意見交換を行った。分科会メンバーは下記の通り。

松岡 弘樹（ADKホールディングス）

原田 裕美（大広）

半澤絵里奈（電通グループ）

中島 静佳（博報堂DYホールディングス）

(2)有識者インタビュー

調査結果をDE&I領域に深い知見のある3名に共有し、アンケート結果を見た感想や広告業界に対する意見、課題提起、期待などを聞くインタビューをそれぞれ以下の通り実施した。

■ インタビュー概要

有識者 キャシー松井（MPower Partners Fund L.P. ジェネラルパートナー）

松田 崇弥（ヘラルボニー 代表取締役社長）

入山 章栄（早稲田大学 大学院経営管理研究科教授）

日 程 2023年1月～2月に実施

形 態 オンライン

インタビューおよび同席者 DE&I委員会委員、JAAA事務局

4. DE&I関連のコミュニケーション数のカウント調査

メモリアルデーのキャンペーン広告数やコミュニケーション数を把握し、広告主や生活者のマーケティングニーズやアクションの必要性を確認するため、まず初年度は以下概要で調査を行った。

■ 対象コミュニケーション

- ・ 10月11日 国際ガールズ・デー
- ・ 11月19日 国際男性デー
- ・ 12月4日～10日 人権週間／および10日 世界人権デー

■ 調査対象媒体 および 調査期間

新聞・雑誌 当日含め前2ヵ月・後ろ1ヵ月、トータル3ヵ月間の出稿

SNS（Twitter） 当日含め前5ヵ月・後ろ1ヵ月、トータル6ヵ月間の発信

■調査結果

国際ガールズ・デー、国際男性デーの新聞・雑誌広告の出稿は無し。

人権週間、および世界人権デーの雑誌出稿は無し、新聞出稿は以下の通り。

新聞出稿 352.75段、68,491,000円

SNS（Twitter）の当該期間でツイート件数が最大となったのは、以下の通り。

10月11日 国際ガールズ・デー 10/10週の約7,900件

11月19日 国際男性デー 11/14週の約53,000件

12月4日～10日 人権週間／10日 世界人権デー 12/5週の約17,000件

■調査会社

日本デイリー通信社

4. 事務局運営報告

（1）入会

- ・2022年4月1日付

株式会社 電通コーポレートワン

- ・2022年11月1日付

アクセンチュア株式会社

株式会社 博報堂テクノロジーズ

株式会社 AViC

（2）会員社社名変更

- ・2022年4月5日付

株式会社 コスモコミュニケーションズ ⇒ 株式会社 博報堂Gravity

- ・2022年11月21日付

株式会社 ADKインターナショナル ⇒ 株式会社 ADKコミュニケーションズ

（3）退会

- ・2022年9月30日付

廣告社株式会社

- ・2023年3月31日付

株式会社 SANKO

株式会社 大広メディアックス

ビルコム株式会社

（4）特別講演会

当協会会員の会員代表者に向けて特別講演会を開催した。

日 時 2022年4月22日（金）14:45～15:45

場 所 東京會館・7階 SAKURA

講 師 水無田気流（國學院大學教授、詩人、社会学者）

テーマ メディアとダイバーシティ～日本社会の課題を考える～

参加者 75名

(5) 2022年度会員代表者懇談会

当協会会員の会員代表者による代表者懇談会を3年ぶりに下記のテーマによる講演と着席ブッフェで開催した。

日 時 2022年12月6日(火) 17:00～19:00

会 場 帝国ホテル 本館2階・孔雀の間

講 演 ◆「新しい世界」に向けて、広告会社ができること

中町 直太(第51回懸賞論文 金賞入賞者/電通)

◆「広告の拡張性」

山崎 博司(2021年クリエイター・オブ・ザ・イヤー受賞者/博報堂)

参加者 70名

(6) 全国広告業団体連絡会議

- ・令和3年度後期情報連絡会を4月28日帝国ホテルにて、加盟22団体の内17団体が参加して開催。各団体现況報告を中心に情報交換を行った。まだ新型コロナウイルスの影響により、リアルでの行事の中止や延期が続いているが、徐々に例会を開催している。また、オンラインでのセミナー実施については、全国で共有できるセミナーがあれば参加したいという要望もあった。

なお、4月よりしまね広告業協会が休会となった。

- ・令和4年度理事会、総会、前期情報連絡会を10月7日帝国ホテルにて、14時より加盟22団体の内17団体が参加して開催。各団体现況報告を中心に情報交換を行った。
17時より理事会、総会を開催し、第1号議案「令和3年度事業報告並びに収支決算報告承認の件」、第2号議案「令和4年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認の件」のすべてが承認された。

(7) 広告料金表2022年版の発行

- ・「新聞広告料金表2022年版」

発 行 日 2022年7月1日

版 形 B6判横 272頁

印刷部数 1,800部

頒布価格 会員1,320円(税込) 一般2,640円(税込)

- ・「放送広告料金表2022年版」

発 行 日 2022年10月1日

版 形 A5判横 175頁

印刷部数 1,150部

頒布価格 会員1,320円(税込) 一般2,640円(税込)

(8) 令和5年広告界合同年賀会

広告界合同年賀会(2023年1月6日開催予定)は中止が決定した。

代わりにARコンテンツ「2023 大平理事長の新春書き初めショー」を配信した。

(9) セーフティネット保証5号

経済産業省は、業況の悪化している業種に属する事業を行う中小企業者を対象とするセーフティネット保証5号について、指定予定業種の通番438、日本標準産業分類(平成25年10月改定)

細分類番号7311で「広告業」が下記期間で指定された。

指定期間：令和4年10月1日～令和4年12月31日

(10) パートナーシップ構築宣言について

「パートナーシップ構築宣言」は、サプライチェーンの取引先や価値創造を図る事業者のとの連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築することを、「発注者」側の立場から企業の代表者の名前で宣言するもので、2020年5月に関係閣僚と主要な経済団体で創設された。2022年4月に経済産業省から「パートナーシップ構築宣言」は約6,000社（2023年4月現在約21,000社）の企業が宣言しているが、JAAA会員社で宣言をしている企業がないと指摘を受け、JAAAとしてまずは業界団体として2022年6月1日に「パートナーシップ構築宣言」ポータルサイトに宣言を登録した。2023年3月15日には会長会社（博報堂）、理事長会社（電通）がポータルサイトに宣言の登録を行った。

(11) 自主行動計画について

経済産業省、中小企業庁では、業界団体に対して、サプライチェーン全体での「取引適正化」と「付加価値向上」に向けた自主行動計画の策定と着実な実行の要請を行っている。

経済産業省より、JAAAにも自主行動計画策定の要請があり、経理委員会、法務委員会、制作取引委員会、著作権委員会、広告問題研究委員会から意見をまとめ自主行動計画案を策定し、「広告会社におけるサプライチェーン全体での取引適正化に向けた自主行動計画」として、2023年3月1日に中小企業庁のウェブサイト「『取引適正化』と『付加価値向上』に向けた自主行動計画」に掲載された。また、JAAAウェブサイトにも掲載した。

なお、自主行動計画は、自動車、素形材、機械製造業、航空宇宙工業、繊維、電機・情報通信機器、情報サービス・ソフトウェア、流通業（スーパー、コンビニ、ドラッグストア等小売業）、建材・住宅設備業、紙・紙加工業、金属産業、化学産業、トラック運送業、建設業、警備業、放送コンテンツ業、商社、金融業、印刷業、造船業の20業種から54団体（連名含む）が中小企業庁のウェブサイトに掲載されている。

(12) 会員社訪問

2021年度に引き続きオンラインによる会員社訪問を行い、累計で50社をオンライン訪問した。

(13) 育児・介護休業規程の改定

2022年4月および10月より「育児・介護休業法」の改正により下記3点が適用されたため、当協会の「育児・介護休業規程」を10月1日より改定した。

- ・ 有期雇用労働者の育児・介護休業取得要件の緩和
- ・ 産後パパ育休（出生時育児休業）の創設
- ・ 育児休業の分割取得

2022年度 贈賞・表彰報告

第 52 回懸賞論文 入賞・入選者

「論文」課題： 広告と幸福

- 金賞 福永 琢磨** 『広告のパーパスとは何か ～「主体性」こそが幸福への羅針盤となる時代へ～』
電通 ビジネストランスフォーメーション・クリエイティブ・センター
事業シナリオ&ストーリーデザイン部
ライター／コア・コンセプト・ファインダー
- 銀賞 小糸 和夫** 『人生を幸福にする広告は Cure から Care へ』
電通 コーポレートオフィス ビジネス・コンサルタント
- 銅賞 天野 徹** 『広告と幸福のしあわせな関係を再構築する』
電通 第3統合ソリューション局ソリューション・ディレクター

「私の言いたいこと」一般部門

第1テーマ 広告ビジネス

- 入選 浅井 太紀** 『広告会社資産再考～広告業がサステナブルであるために～』
博報堂 第六ビジネスデザイン局グローバルマネジメント部部长

第2テーマ 広告プランニング

- 入選 平野光太郎** 『デジタル化による「デザインの三つの民主化」一次のデザイン・XDesign へー』
博報堂 第一ブランドトランスフォーメーションクリエイティブ局
チーフアートディレクター

「私の言いたいこと」新人部門 テーマ：自由

- 入選 小野万優子** 『ネットワーク視点から「ノイズ」を生む
ー「自分らしさ」のために広告会社ができることー』
博報堂 第三ブランドトランスフォーメーションマーケティング局
プランニング二部マーケティングプランナー
- 入選 向井 俊介** 『2022 年の行動変容モデル「FUREEM（フレーム）」の考案』
日本経済広告社（ADEX） CPD 局 2 部 1 ルームプランナー

「私の言いたいこと」プレゼンテーション部門 テーマ：自由

- 入選 高石 瑞希** 『来る「贈与」の時代に広告会社は何をすべきか』
大広 WEDO クリエイティブカDivision チーム鯉沼

2022 年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞 受賞者

2022 CREATOR OF THE YEAR

栗田 雅俊 電通 zero クリエイティブ・ディレクター／CMプランナー／コピーライター

【主なクリエイティブワーク】

- SUNTORY「人生には、飲食店がいる。」
- ユニクロ「あたしんち×母の日・父の日」「Life と Wear ワイドパンツ・ブラトップなど」
- 日清食品「カップヌードル PRO」
- 宝くじ「クイックワン」
- SUNTORY「デカピタ C」ほか

2022 CREATOR OF THE YEAR MEDALIST

宇佐美雅俊 TBWA\HAKUHODO Disruption Lab / Creative Director

【主なクリエイティブワーク】

- 講談社 ザ・ファブル「※広告規制により、サンマを持たされています。」
- 猿払村 / 甲子化学工業「守るのは、頭と地球。HOTAMET」
- Meta Quest 2「なんでもありを、生きてやれ。」ほか

奥山 雄太 SIX / 博報堂 クリエイティブ・ディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- PlayStation「Play Has No Limits feat. 米津玄師」
- ポケモン GO「Drone Fireworks Show」ほか

細川 万理 ADK マーケティング・ソリューションズ

EX デザインセンター クリエイティブ・ディレクター／コピーライター

【主なクリエイティブワーク】

- 大王製紙 エリス「奨学ナプキン／リブランディングプロジェクト」
- 資生堂 ELIXIR「グローバルサステナビリティキャンペーン」
- Teach For Japan「求む。2年間先生！」ほか

吉川 隼太 電通 Future Creative Center / 第2CRプランニング局 グループ・クリエイティブ・ディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- ヤマト運輸「運創業プロジェクト」
- ZEBRA「KAKU LAB.」
- mizkan「B面レシピ」ほか

中野 仁嘉 博報堂 クリエイティブコンサルティング局坂本チーム PRディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- 日本民間放送連盟「違法だよ！あげるくん」
- 大塚製薬「CalorieMate liquid to ENGINEER」
- アサヒビール「スーパードライ生ジョッキ缶」ほか

新井 勝也 TBWA\HAKUHODO Disruption Lab / Creative Director / Senior Art Director

【主なクリエイティブワーク】

- 朝日新聞「Journa-Rhythm」
- SONY LinkBudsS「Never Off」
- I.W.HARPER「I'M HARPER 自己満足に、生きる。」ほか

稲村 陽一 グレイワールドワイド アソシエイトクリエイティブディレクター / アートディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- SK-II「VS SERIES」
- PANTENE effortless「寝ぐセルフィー」
- PANTENE「ミステリーサロン」ほか

第10回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞」(JAAA 若手大賞)

大賞

■ほろよい飲んで、なにしよう？

コミュニケーションの主体：サントリーホールディングス株式会社

推薦者：藤田 千尋（ジェイアール東日本企画）、小林 琢磨（東急エージェンシー）、
伊達 習人（マッキンゼーエリクソン）

優秀賞

■アース製薬公式 Instagram「G劇場」

コミュニケーションの主体：アース製薬株式会社

推薦者：福島 花梨（三晃社）

■静岡市プラモデル化計画

コミュニケーションの主体：静岡市

推薦者：山口 大輝（読売広告社）

■近づいてくる母／・・・に隠された父の本音

コミュニケーションの主体：株式会社ユニクロ

推薦者：原 銀大（三晃社）、岩下 響・山口 大輝（読売広告社）

■おしゃべりひろゆきメーカー

コミュニケーションの主体：株式会社CoeFont

推薦者：明山 想（ジェイアール東日本企画）、山口 愛咲美・山口 貫太（読売広告社）

■きつねダンス

コミュニケーションの主体：株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテインメント

推薦者：廣川 実生（三晃社）、山口 愛咲美（読売広告社）

特別賞

■タクシー駐停車マナー改善ナッジ

コミュニケーションの主体：京都市、株式会社NTTデータ経営研究所

推薦者：熊谷 領（三晃社）

ファイナリスト

■明治R-1 受験生応援広告

コミュニケーションの主体：株式会社明治

推薦者：森 佳栄・黒田 紗永（ジェイアール東日本企画）

■人生には、飲食店がいる。

コミュニケーションの主体：サントリーホールディングス株式会社

推薦者：本多 健人（ADK マーケティングソリューションズ）、難波江 侑矢（読売広告社）

■ドミノ・ピザ、役員が1日店舗運営

コミュニケーションの主体：株式会社ドミノ・ピザ ジャパン

推薦者：山口 貫太（読売広告社）

■愛の1万字広告

コミュニケーションの主体：サントリーホールディングス株式会社

推薦者：大島 さくら（三晃社）

■いったん、しおりを挟みます。三省堂書店一時閉店コミュニケーション

コミュニケーションの主体：株式会社三省堂書店

推薦者：藤岡 慧（ジェイアール東日本企画）

※ファイナリストは最終審査に残った施策を指します

※推薦者の所属は応募時点

CSR 委員会 「SDGs ポスター」 入賞作品

最優秀賞

丸原 孝紀、高津 颯真、森澤 敦史（東急エージェンシー）

〇いちばんの課題は、ワクワクしないことでした。

優秀賞

田中 三恵（スコープ）

〇わたしたちの手でつながっている目標を表現し明るい未来をつくろう

丸原 孝紀、扇 玲香、古林 萌実（東急エージェンシー）

〇育てよう、SDGs

荒木 竜郎、佐藤 寛子、表 千歩（日本経済広告社）

〇変えたくない日常のために、変えたい意識がある。

第 58 回吉田秀雄記念賞 受賞者

個人賞

〇神田橋 治（株式会社 TOMOE 代表取締役社長）

〔略 歴〕

1972 年	3 月	中央大学卒業
1972 年	3 月	株式会社 巴弘告社入社（2006 年商号を株式会社 TOMOE と変更）
1993 年	1 月	同社 営業本部営業局長
1997 年	3 月	同社 取締役営業局長
2004 年	3 月	同社 常務取締役営業本部長
2005 年	3 月	同社 代表取締役社長

〔協会役職〕

2007 年	7 月～	当協会理事
2016 年	6 月～	当協会運営委員会・吉田秀雄記念賞選考委員会の委員
2016 年～2018 年		広告問題研究委員会担当理事
2019 年～		ビジネス統括委員会担当理事 現在に至る

〔贈賞理由〕

2007 年協会理事に就任。以来、長きにわたり協会運営に貢献し、広告業界の発展向上のために尽力されている。2016 年に運営委員会並びに吉田秀雄記念賞選考委員会の委員と、広告問題研究委員会担当理事に就任。2019 年からは、ビジネス統括委員会の担当理事に就任し、統括する各事業委員会の活動を承認するとともに理事会において、業務報告を行い協会運営に貢献された。

グループ賞

一般社団法人 日本広告業協会 字幕付き CM 普及推進に尽力されたみなさま (字幕付き CM 普及推進協議会・業協運営委員／字幕付き CM 検討 WG)

●日本広告業協会 字幕付き CM 普及推進協議会

運営委員 沼澤 忍（電通 コーポレートオフィス広告電通賞プロジェクト部広告電通賞事務局長補佐）

運営委員 陣内 満（電通 ラジオテレビ局スポット3部長）

●字幕CM協議会の実務者会議に対応した字幕付き CM 検討 WG の方々

リーダー 藤井 康正（電通 メディア・コンテンツ事業推進局進行部長）

サブリーダー 淵上有理子（博報堂 DY メディアパートナーズ 計画管理局担当局長代理兼テレビ・ラジオ進行業務部長）

メンバー 井上 聡（電通 メディア・コンテンツ事業推進局確認部長）

メンバー 外山 善太（博報堂 DY メディアパートナーズ 計画管理局テレビ・ラジオ進行業務部

メディアトラフィックディレクター）

[贈賞理由]

2014 年 10 月、日本アドバタイザーズ協会・日本民間放送連盟・日本広告業協会の 3 団体により、「字幕付き CM 普及推進協議会」を設立。以来、セミナーや説明会、字幕付き CM ハンドブックの発行やプラットフォームの提供など、字幕付き CM の普及推進に取り組み、2022 年 10 月には、ほぼすべての CM 枠（タイム・スポット）で字幕付き CM のオンエアが可能となるなど大きな成果を上げている。